

不祥事ゼロに向けた取組

～一人一人が自分事として考える～

境町立境第一中学校長

「コンプライアンス」とは、一般的に「法令遵守」と訳されるが、教職員はその職務内容から社会的に与える影響が大きく、法令だけでなく社会の規範やルール・マナーをも遵守することが求められています。従って、教職員一人一人が、コンプライアンスに対する認識をしっかりともち、校長の強いリーダーシップのもと、学校がひとつのチームとしてコンプライアンスの確立に向け、取り組んでいく必要があります。

学校におけるコンプライアンスとは、学校と教職員一人一人の社会的責任であり、学校又は教職員が保護者や地域社会から学校に寄せられる期待や信頼に応えるということでもあります。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

月	内 容 ※研修内容については、適宜変更し、喫緊の課題を選定する。
4	・「服務規律について」の指導（管理職）・誓約書の署名 ・行動宣言記入
5	・コンプラ研修（1年部職員）「飲酒運転根絶を目指して」 ・教育評価面談
6	・コンプラ研修（2年部職員）「体罰根絶を目指して」 ・第1回コンプライアンス推進委員会
7	・コンプラ研修（3年部職員）「個人情報の漏洩防止を目指して」
8	・コンプラ研修（学年外職員）「重大な交通違反撲滅を目指して」
9	・コンプラ研修（1年部職員）「セクハラ・わいせつ行為禁止を目指して」 ・教育評価面談
10	・コンプラ研修（2年部職員）「体罰根絶を目指して」
11	・コンプラ研修（3年部職員）「適正な金銭管理を目指して」
12	・コンプラ研修（学年外職員）「飲酒運転根絶を目指して」 ・飲酒運転根絶に向けたセルフチェックの実施
1	・コンプラ研修（若手職員） 「パワハラのない職場環境を目指して」 ・教育評価面談
2	・コンプラ研修（女性職員） 「セクハラのない職場環境を目指して」 ・第2回コンプライアンス推進委員会
3	・年間の振り返りと次年度の計画（管理職）

2 研修資料

「One IBARAKI」各号、国・県・町からの通知文、新聞記事、研修ワークシート等

3 対策内容等

- ・定期的・継続的なコンプライアンス研修及び個別面談を実施し、全ての教職員が「自分事として捉える」ことを強く再認識することで、服務規律の確保を徹底する。
- ・風通しのよい職場環境を創り上げ、教員同士コミュニケーションを図りながら未然防止に努める。
- ・盗撮を疑われるような行為をせず、撮影等が必要な場合は許可を得る。また、各階の巡視、トイレ・更衣室等の整理・整頓及び点検を徹底し、環境整備に努める。